

資料3

報道発表資料
平成22年2月2日
気象庁第115回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成21年10月5日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価のほか、最近の桜島の火山活動について特に重点的に検討を行い、結果を以下のとおりとりまとめました。

○ 最近の桜島の火山活動について

2006年6月に再開した桜島南岳東斜面の昭和火口の噴火活動は、2009年に入り次第に活発化し、同年10月頃から爆発的噴火が頻発し、火山灰の噴出量も急増しています。10月以降の噴出物の分析でも、マグマ活動の活発化を示唆する結果が得られています。

各種観測の結果からみて、現在のところ直ちに桜島大正噴火のような大規模噴火に移行する兆候は認められないものの、今後更に噴火活動が活発化する可能性が高いと考えられます。その場合昭和火口からの溶岩の流出の可能性も考えられるため、引き続き火山活動の推移に注意が必要です。

なお、昭和火口から溶岩が流出した場合においても、直ちに居住地域が危険にさらされる可能性は、当面のところ低いと考えられます。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成21年10月5日～平成22年2月1日）、三宅島、桜島および諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕の活動については、上記のとおりです。引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から2 km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しています。御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・ 62-2火口付近では、2006年以降、GPS観測により62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられ、現在まで継続していると推定されます。
- ・ 62-2火口付近の地震活動及び同火口の噴煙活動や熱活動は低調に推移していますが、今後の活動の推移に注意が必要です。

③ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いており、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張が2006年以降継続しています。また、地震活動は概ね低調ですが、2008年以降は消長を伴いながらわずかな増加が見られています。2009年10月に傾斜変動を伴う火山性微動が2回発生しました。
- ・ 噴煙活動は低調な状態が継続していますが、今後の活動の推移には引き続き注意が必要です。

④ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成21年10月27日に噴火警戒レベルの導入に伴い、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。

- ・ 8月28日に確認された女岳北東斜面の新しい噴気地熱域では、10月21~23日にかけて実施した現地調査の結果、斜面下方側に地温の高い領域が認められ、地熱域の斜面下方への拡大が確認されました。その後もこの地域では、11月12日および12月1日の上空からの観測の結果、地熱によると考えられる融雪域がみられ、地熱域がわずかに拡大しているのが認められました。

- ・ 以前から定常的に地熱の高まりがみられている女岳山頂北部の地熱地帯では、前回（2009年9月8日）の観測と比べ特段の変化は認められませんでした。
- ・ 地震活動は低調な状態で推移しています。
- ・ ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

④ 栗駒山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 2008年11月11日に大穴火口で噴気活動が活発化し、高さ50～400mの白色の噴気が観測されていました。2009年9月は50m以下で一時的に低調でしたが、10月以降は噴気の高さが50～400mと再びやや高まった状態が続いています。一切経山や、大穴火口以外の場所では、地表面温度等の変化は認められません。
- ・ 火山性地震は2009年10月以降増加し、やや多い状況が続いています。
- ・ 1月29日に火山性微動を2回観測し、継続時間はそれぞれ約2分半と1分でした。この前後で地震活動や表面現象に異常は認められませんでした。
- ・ 大穴火口周辺での地殻変動観測では、2008年8月頃から2009年前半にかけての火山性地震の活動に対応して、わずかに伸びと縮みが観測されました。5月以降は、10月からの火山性地震の増加に対応する時期を含め、火山活動によると考えられる変化は観測されていません。その他の広域の地殻変動観測でも変化はみられません。
- ・ 大穴火口での噴気活動は継続していますので、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が続いています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

③ 浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2009年2月の噴火以降、減少傾向がみられていますが、2008年7月以前の状態と比べ引き続き多い状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2008年7月頃からの深部へのマグマ貫入を示すわずかな伸びの傾向は、2009年7月頃から鈍化し、現在はほぼ停滞しています。
- ・地震活動は引き続きやや多い状態が続いています。
- ・火山活動は2008年6月以前と比べて高い状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、2008年8月頃からわずかな伸びの変化が継続しています。この変動は、地下深部の膨張を示していると考えられます。
- ・その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報（平常）]

- ・12月17日から20日にかけて、地下深部へのマグマの活動に伴うと考えられる地震が多発し地殻変動も観測されました。
- ・この地域では同様な活動がこれまでも繰り返し発生し、震源の深さは概ね3～10kmの範囲に分布しています。2000年以降の活動は7km以深で発生していましたが、今回は8km付近から始まりその後浅くなり、主要な活動は概ね3～6kmでした。
- ・周辺の体積歪計や傾斜計の変化は、地震活動開始に半日程度先行して始まり、21日以降ほぼ活動開始前の状態に戻りました。GPSによる地殻変動観測でも、地震活動域の周辺で18日から20日にかけて変化が認められました。
- ・明瞭な低周波地震の活動や火山性微動は観測されておらず、噴火の兆候は認められ

ません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ GPS、光波距離計による地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が継続していますが、短期的には秋頃から収縮傾向がみられています。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 11月15日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山麓の東側で降灰を観測しました。
- ・ 地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・ 二酸化硫黄放出量は一日あたり1千～2千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺 (雄山環状線内側) では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

⑬ 八丈島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報 (火口周辺危険)]

- ・ 地震活動は落ち着いた状態で経過しています。2006年8月以降見られていた島全体が隆起する地殻変動は現在は停滞していますが、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福徳岡ノ場 [噴火警報 (周辺海域警戒)]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 11月2～6日にかけて火山性微動の振幅が一時的に大きい状態となり、消長を繰り返しながら推移しました。
- ・ 孤立型微動は多い状態で経過しました。
- ・ 中岳第一火口では、2009年6月下旬以降、火山灰の噴出は観測されていません。

- ・ 中岳第一火口南側火口壁の噴気孔では火炎現象及び赤熱現象が引き続き観測されています。
- ・ その他の火山活動に特段の変化はなく火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・ 南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

③ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山

新燃岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴気がみられることから、火口内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 昭和火口では、爆発的噴火の発生回数が2009年7～9月には163回でしたが、10～12月には290回、2010年1月は131回と増加しました。2009年10月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,000mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石は3合目（昭和火口より1,300～1,800m）まで達しました。
- ・ 南岳山頂火口では、10月3日に大きな空振を伴う爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上3,000mまで上がり、大きな噴石が4合目（南岳山頂火口より1,300～1,700m）まで達しました。
- ・ 2009年10月以降、噴火により放出された火山灰量は増加を続けています。一方、傾斜計による地殻変動観測では、放出量の増加に見合った山体地盤の沈降は認められません。これらのことから、桜島直下へのマグマの供給量は引き続き増加傾向にあると考えられます。
- ・ 10月以降の噴出物の分析では、噴出物中のマグマ物質の比率の増加を示す結果が得られています。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されています。
- ・ 2009年9月以降、少ない雨量でも土石流が発生しています。
- ・ 以上のように、2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、10月頃から更に活発となっています。今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・ 昭和火口及び南岳山頂火口から2 km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。
- ・火山性地震は、2009年3月下旬以降やや多い状態が続いています。
- ・硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑦ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）] ←平成21年10月30日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

- ・火山性地震は、9月27日～29日にかけて一時的に増加したほかは概ね少ない状態で経過しました。
- ・その他の火山活動に特段の変化はなく新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・諏訪之瀬島では、今期間も爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、長期にわたり噴火を繰り返しています。
- ・火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

○ その他の活火山

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況が続いています。

1. 北海道地方

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

2. 東北地方

恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

3. 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島

高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

4. 中国・九州地方及び南西諸島

三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注) 噴火警戒レベルは平成22年2月2日現在、26火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	新瀧焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル1、平常)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

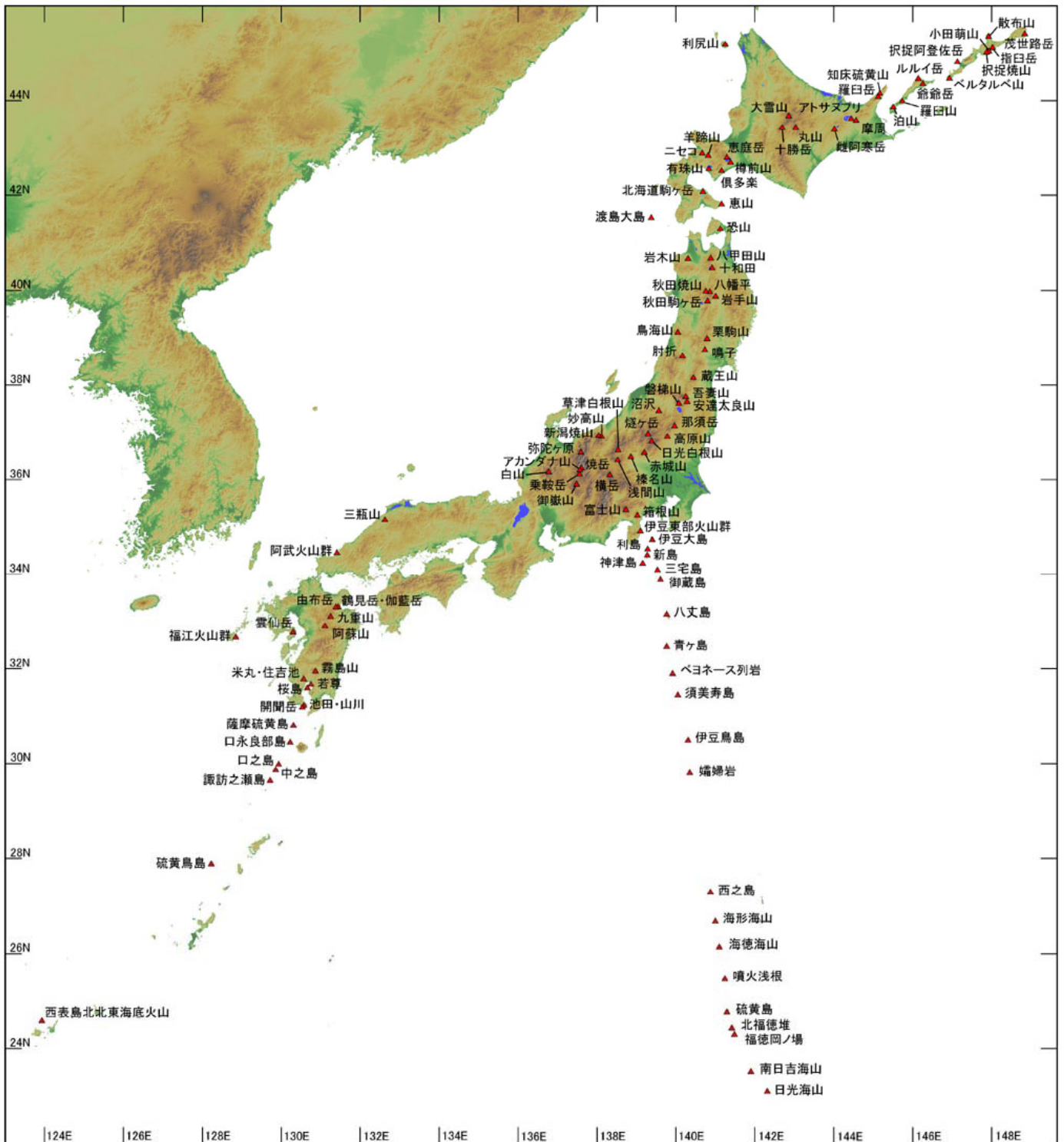


図 活火山分布図